

情報公開文書

1. 研究の名称

病室患者のナースコールから看護師が病室に到着した時間に影響する要因の検討
- 看護師位置情報を利用した分析 -

2. 倫理審査と許可

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

研究機関：

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻周産期疫学分野 大滝千文 講師

4. 研究の目的・意義

目的：本研究は、大学病院の外科系病棟・内科系病棟に入院し病室にいる患者のナースコールから、看護師が病室に到着する時間を測定し、患者受け持ち人数等の看護人員配置が病室患者からのナースコールに対応する時間（応答までの時間、看護師ベッドサイド到着時間）に影響しているかを検討することを目的とする。

意義：本研究により、看護師がナースコールに対応する時間（応答までの時間、看護師が病室に到着する時間）を明らかにし、さらにナースコール対応時間に影響する要因が明らかになれば、ナースコール応答時間と患者対応するまでの時間が改善される一助となると考える。

5. 研究実施期間

機関の長の実施許可日から2024年3月31日まで（予定）

6. 対象となる試料・情報の取得期間

2022年11月1日から11月30日の間に、京都大学医学部附属病院積貞棟6階病棟、南3階病棟、南6階病棟、南7階病棟に勤務していた看護師

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

患者受け持ち人数等の看護人員配置が病室患者からのナースコールに対応する時間（応答までの時間、看護師ベッドサイド到着時間）に影響しているかを検討する。病棟で取得されている、看護師ベッドサイド到着時間と、病室患者からのナースコール時間を分析対象とする。

8. 利用または提供する試料・情報の項目

1) ナースコール情報

病室（ベッドサイド）から押されたナースコールの発生時刻、看護師の応答時刻（コール年月日時分秒、病室（部屋）番号、ベッド番号、コール種別、応答秒）

2) 看護師がナースコールがあった患者のベッドサイドに到着した時刻

9. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻周産期疫学分野 大滝千文 講師
京都大学医学部附属病院 看護部 足田智子 看護師長

10. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻周産期疫学分野 大滝千文 講師
京都大学医学部附属病院 看護部 疋田智子 看護師長
11. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法
ご自身の情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。
12. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法
相談窓口にご連絡いただければ、研究に関する資料をお渡しいたします。
13. 研究資金・利益相反
 - 1) 研究資金の種類および提供者
本研究は、公益財団法人 太陽生命厚生財団 調査研究助成金および、研究責任者研究室の運営費交付金を資金源として実施する。
 - 2) 提供者と研究者との関係
資金提供者となる予定財団は、研究の企画、運営、解析、論文執筆には関与しません。
 - 3) 利益相反
利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。
14. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法
 - 1) 研究課題ごとの相談窓口
京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻看護科学コース 周産期疫学分野
講師 大滝千文
(Tel) 075-751-3916 (E-mail) otaki.chifumi.2u@kyoto-u.ac.jp

京都大学医学研究科 総務企画課 研究推進掛
(Tel) 075-753-9301 (E-mail) 060kensui@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp